



春日井市立松原中学校
R2学校便り第21号

剛健優雅

令和2年12月15日
文責 小林 真

新型コロナウイルス感染症対策

連日のように新聞報道等で、新規新型コロナウイルス感染者の記事が掲載されています。春日井市でも、ここ1ヶ月くらいは、新規感染者ゼロの日が無いくらいの勢いです。政府をはじめ、全国での感染症予防対策が取られる中、現在、感染の主流は「家庭内感染」です。本当に幸運なことに、本校では、子どもたちが新型コロナウイルスに感染したという報告を受けていませんが、近隣の小中学校では、家庭内で感染してしまった子どもたちがいるのが現状です。本当に、何時・何処で感染をするかわからない状況が、身近に迫っています。

なんとか、子どもたちに感染を広げないためにも、ご家庭内での感染予防対策を、今一度ご確認いただいて、ご家族で共有いただけると幸いです。年末年始の儀式的な行事が行われるときでもありますので、確実にご確認いただけるようお願い申し上げます。

既にご存じの事かとは存じますが、下記に、文部科学省から発出された『感染リスクが高まる「5つの場面」』を載せさせていただきます。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

